

◆令和6年度 第2回 建設事業外部評価委員会 議事要録◆

1 日時 令和6年11月27日(水) 15:00~16:00

2 場所 神戸商工貿易センタービル22階 第3研修室

3 出席者

○委員

井上定子委員、大石哲委員、太田尚孝委員、島田奈美委員、
馬場美智子委員、福島徹委員

○事業所管課

建設局道路工務課、都市局駅まち推進課

○事務局

建設局技術管理課

4 議事

1) 審議資料修正に関する報告

○国道428号(箕谷北)道路改良事業

(会長) 資料p.14の「事業効果の検証」で、「①異常気象時や災害時における通行止めによる損失の回避」は、貨幣換算が困難な効果として参考値を記載する、という理解でよいか。

(所管課) そうである。国土交通省のマニュアルに沿った便益の算出ではないこと、近年のゲリラ豪雨の多発を鑑みると通行止め回数の予測が難しいことから、貨幣価値換算が困難な効果として記載している。

(会長) 事業の本来の目的が安全で円滑な交通を確保することであることを考えると、事業効果の検証としては現在の資料(p.10以降)のまとめ方の順序が、①走行時間短縮便益②走行経費減少便益③交通事故減少便益ではなく、事業の主目的に関する便益が先となるのではないか。また、「離合」という言葉は方言であるため、「すれ違い」等の表現がよいのではないか。

(所管課) ③交通事故減少便益①交通事故減少便益②走行経費減少便益の順に修正する。また、「離合」の表現を「すれ違い」と改める。

○都市構造再編集中支援事業 神戸ハーバーランド地区(第2期)

(委員) 資料p.5の「活性化集客事業(イベント実施)」はどこも指していな

- いが、「神戸駅前広場社会実験」と同じ場所での開催なのか。
- (所管課)「活性化集客事業(イベント実施)」はイベントのため、特定の場所ではなく、地区内の複数個所で開催している。
- (会長)当初の資料より、市民の方にとって分かりやすい資料となってきたと思う。

2) 意見書とりまとめ

【前文】

特に意見なし

【審議対象事業の内容と意見】

○国道428号(箕谷北)道路改良事業

- (会長)事業を実施する効果として、資料のまとめ方とは異なるが、事業の主目的に対する効果を先に述べる、まとめ方にしている。
- (委員)資料のまとめ方と意見書のまとめ方が異なることに違和感がある。
- (所管課)資料のまとめ方を改める。
- (委員)議事次第等では、事業のタイトルが「国道428号(箕谷北)道路改良事業」となっているが、資料では、「国道428号(箕谷北工区)道路改良事業」となっている。
- (所管課)タイトルを一つに統一する。

○都市構造再編集中支援事業 神戸ハーバーランド地区(第2期)

- (会長)個別事業において妥当性に言及しており、事業全体としての評価がない。個別事業では目標を達成しており、事業全体として総合的に判断し妥当である、というまとめ方がよいのではないか。
- (委員)事業の中には現在も進行中のものがあり、効果が現れる時期が現在ではないことから、現時点では目標が達成されていなくとも、将来的に効果を得られることが予想されることも含めて、判断すればよいのではないか。事業全体としての判断指標がないため、まとめ方には工夫が必要だと思う。
- (会長)意見書のまとめ方だけでなく、資料の説明にも本事業の目的を達成しているということが分かるような工夫が必要だと考える。
- (委員)資料、意見書ともに「にぎわい」と「賑わい」が混在しており、統一した方がよい。
- (所管課)資料、意見書ともに修正する。また、「にぎわい」と「賑わい」の混在を改める。

【総括部】

特に意見無し